

土壤管理計画書

圃場No. A-117
 作物名 水稲

作成年月日		作成者	
承認年月日		承認者	

①土壤の種類

土壤分類名	細粒質グライ化灰色低地土
-------	--------------

②前作の状況

	状況概要	今作の目標	対策	備考
土壤病害	なし		対策不要	
連作障害	なし		対策不要	
土壤消毒の履歴	なし		対策不要	
土壤流亡の発生状況	なし		対策不要	
その他	一部で秋落ち		ごま葉枯病発生田では、鉋さいマンガン肥料を施用する。 それ以外の水田では、堆肥施用、中干し実施等を行う。	

③土壤分析結果 別紙分析報告書の通り

④土壤改良・土作り計画

項目	目標値	前作の状況	今作の目標	対策	備考
土壤消毒	不要	太陽熱消毒を実施	実施しない		2年おきに実施
石灰によるpH調整		6.2	6	土壤改良材200kg/10a	
有機物施用による土作り		2t/10a	2t/10a	牛ふん堆肥 2t/10a	県基準量(上限値)

⑤その他

項目	目標値	前作の状況	今作の目標	対策	備考
放射性物質(必須)				必要なし	指定地域ではない
カドミウム(必須)				必要なし	指定地域ではない
アレルゲン	できるだけ減らす	少ない		西側水田に落花生の作付あり(残渣の徹底処分を依頼)	
養分の豊否		多い		交換性塩基含量、有効態窒素、珪酸含量等から判断	
自然肥沃度		高い		補肥力、リン酸固定力等から判断する	
障害性		無し		有害物質及び物理的障害により判断する	
災害		災害の危険なし		増冠水、地滑りの危険度、傾斜等から判断する。	

輪作計画 イネ→ムギ→ダイズ
 今作はイネ

※実施事項

分級基準Ⅱ等級(正当な収量を確保し、正当な土壤管理を行う上に、土壌的に見て若干の制限因子や阻害要因があり、土壤悪化の危険性が多少想定される土地)まで改良を行う。



土壌管理計画書

圃場No. 110
 作物名 夏秋トマト

作成年月日		作成者	
承認年月日		承認者	

①土壌の種類

土壌分類名	細粒質普通灰色低地土
-------	------------

②前作の状況

	状況概要	今作の目標	対策	備考
土壌病害	青枯れ病(一部)	発病ゼロ	土壌微生物資材投入	
連作障害	なし		対策不要	
土壌消毒の履歴	太陽熱消毒		実施しない	2年おきに実施
土壌流亡の発生状況	なし		対策不要	
その他				

③土壌分析結果 別紙分析報告書の通り

④土壌改良・土作り計画

項目	目標値	前作の状況	今作の目標	対策	備考
土壌消毒		太陽熱消毒を実施	実施しない		2年おきに実施
石灰によるpH調整					
有機物施用による土作り その他		2t/10a	2t/10a	牛ふん堆肥 2t/10a	県基準量(上限値)

⑤その他

項目	目標値	前作の状況	今作の目標	対策	備考
放射性物質(必須)				必要なし	指定地域ではない
カドミウム(必須)				必要なし	指定地域ではない
アレルゲン	できるだけ減らす			西側水田に落花生の作付あり(残渣の徹底処分を依頼)	

輪作計画 トマト単作

※実施事項

有効態リン酸値が年々増加しているため有機質及びリン酸補給型施肥に切替える。

- ・毎年土壌診断を実施し土壌改良及び肥料の施用方法を改善する。
- ・作土が浅いため。土壌の基盤を破壊し、有効作土の確保に努める。
- ・土質の悪い場所は客土を行う。

